

令和2年度
事業計画書

認知症対応型共同生活介護

姫路・勝原ホムム認知症対応型共同生活介護

法人理念 「いたわりと思いやり」 「地域福祉の拠点として」

1. 事業の内容

事業の指定	認知症対応型共同生活介護
事業の名称	姫路・勝原ホーム認知症対応型共同生活介護
指定番号	2874001403
施設の所在地	〒671-1201 姫路市勝原区下太田 573 TEL 079-273-1311 / FAX 079-273-4321
事業開始	平成13年4月1日
管理者	管理者 石田智徳
利用定員	1ユニット 9人

2. 事業目標

次に掲げる年度目標の具体的対応策を周知・実行し、理念の実現を目指す。

目 標	外出支援や行事を企画し、実行していくことで、利用者個々のストレスの改善を図り、稼働率の維持を目指す。
理 由	<p>長期にわたり、入居される方も増え、施設生活にストレスを感じている様子が窺える中、現状の支援や関わりでは、利用者個々の要望に十分に答えられていない時もあるため。</p> <p>再度、アセスメントとして、利用者個々の要望を把握し、外出支援や地域交流など楽しみとなるいきがい活動のあり方について、PDCAサイクルをもとに見直し、要望に加えて、より状態に応じた活動を提案し、実行していくことで施設生活によるストレスの軽減に努めたいため。</p>
具体的対応策	<ol style="list-style-type: none"> 1ヶ月に1度、利用者アンケートを行ったり、傾聴の機会を作ったりすることで、利用者個々の都度の要望や満足度を把握する。 運営推進委員や地域包括支援センターなどと連携して、地域行事などに関する情報収集を行う。 毎月の会議にて、集約した利用者の要望をもとにグループホームでできることを模索し、取り組みやすい内容から利用者個々に提案し、実行する。 外出支援や行事の企画を職員誰もが行うことができるように企画書などの様式を整備し、実行する。

3. 職員配置

介護保険法に定められている人員配置基準を遵守し、一人ひとりの入居者が、安全で快適な生活が過ごせるように次の人員を配置する。

職 種	常 勤	非常勤		フルパート		パート		合 計	
		人数	換算	人数	換算	人数	換算	人数	換算
管理者（兼務）	1							1	1.0
計画作成担当者						1	0.3	1	0.3
看 護 師	1							1	1.0
介 護 員				1	1.0	4	2.5	5	3.5
介護員（夜勤）						6	2.8	6	2.8
合 計	2			1	1.0	11	5.6	14	8.6

4. 各種委員会

法令遵守及びサービスの質の向上を図るため、全ての職員が次のいずれかの委員会に属し、多職種が協働することにより、効果的に事業を展開する。

委員会名	活 動 目 標	活動回数
認知症委員会	認知症介護における各職員のスキルアップの為に、認知症の理解と日々の支援の中での処遇等の意識向上を図る。	月1回開催 【施設内研修】 4月
リスク管理委員会	事故報告書の集計・管理を行い事故の原因を追究し、事故防止につなげる。ヒヤリ・ハット報告書のマニュアルを作成し、各職員に周知徹底を図る。	月1回開催 【施設内研修】 8月・3月
感染・衛生委員会	感染症予防のマニュアル（インフルエンザ、ノロウイルス等）の見直しと施設内研修での各職員への対応策の周知徹底を図る。	月1回開催 【施設内研修】 5月
医療的ケア安全対策委員会	終末期における看取りの指針を見直し、施設での看取りについて考え、施設内研修にて各職員に周知徹底を図る。	月1回開催 【施設内研修】 7月
栄養委員会	非常・災害時の食事について備蓄食品の取り扱い方、保管場所、調理設備や食器等、どのような備えが必要であるのか、全職員で情報共有を図る。	月1回開催 【施設内研修】 6月
介護向上委員会	利用者個々の身体機能における拘縮予防について、日々の生活の中で行える体操やストレッチを活用して予防を図る。	月1回開催 【施設内研修】 9月

委員会名	活動目標	活動回数
褥瘡・拘縮予防委員会	看護師、管理栄養士、PT、OTと連携を取りながら、褥瘡における知識や予防法、適切なポジショニング等のマニュアルを作成し、施設内研修で周知を図る。	月1回開催 【施設内研修】 10月
安全対策委員会	毎月、避難訓練を実施、及び緊急時（救急、地震、水害等）の対策について周知徹底を図る。	月1回開催 避難訓練毎月 【施設内研修】 12月
身体拘束・虐待防止委員会	生活の場である施設で安易な身体拘束を防ぎ、又、利用者の尊厳や人権を意識した支援ができるように施設内研修を行い、各職員に周知徹底を図る。	月1回開催 【施設内研修】 2月
レクリエーション委員会	利用者が活発に楽しめるレクリエーションの企画と職員のレクリエーションや年間の季節の行事に対するモチベーションの向上を図る。	月1回開催 各種行事担当
OJT教育委員会	新人職員、若手の職員の育成・指導において、指導方法の統一化を図る。	月1回開催 又は 必要時開催

5. 年間行事計画

一人ひとりの入居者が、家族や地域住民とともに過ごす時間を作り、めりはりのある生活や馴染みのある習慣が継続できるように時節に応じた次の行事を計画する。

月	行事内容	内容
4月	①お花見	①近隣にドライブに出かけ、桜を鑑賞しながら昼食をいただく。
5月	①下太田花祭り ②つくし会との交流会 ③朱の会との交流会	①地域の春祭りのお神輿を施設前で見学する。 ②・③ボランティアの方による舞踊、手品等を鑑賞する。
6月	①バーベキュー大会	①散策公園にてバーベキューを行い、楽しく昼食をとる。
7月	①七夕会 ②やながせ祭り見学	①七夕の笹飾りを楽しみ、展示する。 ②やながせ保育園の夏祭りを見学する。

月	行 事 内 容	内 容
8 月	①納涼大会 ②和太鼓交流会	①入居者家族、ボランティア、近隣の方を招待し、盆踊りや屋台を楽しみながら交流をもつ。 ②ボランティアによる和太鼓演奏を鑑賞する。
9 月	①寿会 ②ドライブ外出（コスモス畑見学）	①白寿・米寿の方の長寿を祝い、ボランティアによる舞踊鑑賞や、食事会、記念撮影を行う。 ②ドライブに出かけ、コスモス畑を鑑賞する。（御津方面）
10 月	①ふれあい運動会 ②秋祭り見学（吉備神社 魚吹神社） ③マッサージ施療	①やながせ保育園の園児と運動会を楽しみながら交流をもつ。 ②地域の秋祭りの屋台を施設前で見学する。 ③ボランティアの方によるマッサージの訪問施療を受ける。
11 月	①虹いろの風との交流会 ②東坂老人会との交流会	①・②ボランティアの方による歌、ダンス、銭太鼓を鑑賞する
12 月	①クリスマス会 ②幼児音楽フェスティバル鑑賞	①入居者家族を招待し、食事会や職員劇を楽しみながら交流を図る。 ②姫路文化センターで園児達の音楽会を楽しむ。
1 月	①初詣（吉備神社） ②書初め	①神社へ初詣の参拝に出かける。 ②新年の書初めを行う。
2 月	①節分（豆まき） ②入居者との意見交換会	①節分の豆まきを行う。 ②入居者の思いを、施設長及び各職員が参加し傾聴して改善を図る。
3 月	①ドライブ外出（梅林公園見学）	①ドライブに出かけ、梅の花を觀賞する。（綾部山）

6. サービスの種類及び概要

入居者が家庭的な雰囲気のもと、日々の生活が過ごせるように次のサービスを行う。

サービスの種類	開催日	概 要
お誕生会	随時	家族を招待してお誕生日会を行う。
ドライブ	3月～10月	ドライブに出かけ、季節の木や花を観賞する。
バス旅行	秋	家族と一緒に日帰り旅行に出かける。
買い物外出	毎月1～2回	スーパー等へ買い物に出かける。
リハビリ	毎週木曜	理学療法士・作業療法士によりリハビリを行う。
散歩	随時	職員と一緒に近隣の散策に出かける。
アロマテラピー	毎月1回	専門のボランティアの方によるアロマオイルを活用したマッサージを受ける。
散髪	毎月 第3月・火曜日	理容師の訪問により散髪を行う（実費）。
食事	週2回	昼食夕食は、献立を考え利用者と一緒に調理する。
笑いヨガ	毎月 第1土曜日	ボランティアの方と一緒に発声やストレッチ等の笑いヨガを行う。
花の会	毎月 第2・4水曜日	ボランティアの方と一緒に、季節の花を個々に活けながら関わりを持つ。
陶芸クラブ	毎月1回	ボランティアの方と一緒に花器等の小物を粘土で製作し、焼き上げ、作品に仕上げる。
習字クラブ	毎週水曜日	ボランティアの方と一緒に毎月の題材にそって習字を行う。
園だよりの発行	毎月1回	施設での活動内容や取り組み等を毎月1回広報誌として発行する。

7. 運営推進会議

地域密着型サービスの内容の報告及び入居者に対する適正サービス実施状況の確認、地域関係者との意見交換・交流等を行うことを目的に、年6回、開催する。

内 容	参 加 者
①事業計画、事業報告に関する事項 ②利用状況及び活動報告に関する事項 ③普及啓発事業に関する事項 ④事故・苦情報告及び対応策等の事項 ⑤地域行事への参加等、地域交流に関する事項 ⑥その他の事項	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民代表 ・当該事業についての知見を有する者 ・利用者代表及び利用者家族代表 ・姫路市朝日地域包括支援センター ・管理者 ・介護員

8. 施設の安全対策

一人ひとりの入居者の安全な生活の継続を図るため、防災意識を高め、有事に備えて、次の災害への対策を実施する。

月	訓練種目	内容
4月	防災設備訓練	防災に関する設備の使用方法の訓練
5月	消防訓練（夜間体制）	夜勤職員に対する避難訓練の流れの確認
6月	消防訓練（夜間体制）	夜勤職員に対する避難訓練の流れの確認
7月	消防訓練（日中体制）	日中体制での避難誘導の流れの確認
8月	消防訓練（夜間体制）	夜勤職員に対する避難訓練の流れの確認
9月	地域防災訓練	地震を想定した、地域との連携訓練
10月	消防訓練（夜間体制）	夜勤職員に対する避難訓練の流れの確認
11月	消防訓練（夜間体制）	夜勤職員に対する避難訓練の流れの確認
12月	AED・心肺蘇生の研修	緊急時の心肺蘇生及びAED使用方法についての訓練
1月	消防訓練（日中体制）	日中体制での避難誘導の流れの確認
2月	消防訓練（夜間体制）	夜勤職員に対する避難訓練の流れの確認
3月	消防訓練（夜間体制） ※網干消防署立会	夜間を想定した火災訓練

9. 施設内職員研修

職員の資質向上を図り、より質の高いサービスを実行していくために、毎月、各委員会が中心となって次のとおり施設内研修を実施する。

月	研修名	対象	研修担当
4月	①倫理及び法令遵守、 個人情報保護に関する研修 ②認知症研修	全職員 介護職員	①理事長・施設長・事務長 ②認知症委員会
5月	食中毒、感染症予防研修	全職員	感染・衛生委員会
6月	食事支援に関する研修	全職員	栄養委員会
7月	医療的ケア安全対策研修	介護職員	医療的ケア 安全対策委員会

月	研 修 名	対 象	研修担当
8月	リスク管理研修	全職員	リスク管理委員会
9月	介護技術に関する研修	介護職員	介護向上委員会
10月	褥瘡・拘縮予防研修	介護職員	褥瘡委員会
11月	総合支援事業に関する研修	全職員	在宅サービス委員会①
12月	安全対策に関する研修	介護職員	安全対策委員会
1月	地域包括ケアシステムに関する研修	全職員	在宅サービス委員会②
2月	身体拘束・虐待防止に関する研修	全職員	身体拘束 虐待防止委員会
3月	リスク管理研修	全職員	リスク管理委員会

10. 研修計画

各職員の職種と役割、経験年数に合わせて、習得すべき能力やスキルを明確にし、ボトムアップ（底上げ）を図るため、それぞれに応じた研修への参加を促す。

対 象	研 修 内 容	研 修 名
生活相談員 介護支援専門員 介護主任 ユニットリーダー	・各事業所のリーダーとして、求められる役割と持つべきスキルなどについて	リーダー研修
法人全体	・福祉、介護の専門職として、持つべきマナーなどについて	接遇研修